2. スポーツ施設等の有効活用について

（1） スポーツ施設の長寿命化について

質問 近年、筋力トレーニング実施人口が増加していることが分かりスポーツ庁の調査でも今後増加していく事が考えられる。トレーニング室では、トレーニング器具の順番待ちが発生している状況。解消のため器具を増やす考えはないのか。

答弁 器具更新の際は、利用者の声を聞き、人気の高い器具への変更を検討していく。

（2） テニス場について

質問 横山公園には淵野辺公園と同数の12面テニスコートがあるが、クレーコートのため、利用率に大きな差があるのではないか。利用率を増やし、有効活用のために、砂入り人工芝コートとすることについて、見解を伺う。

＜参考＞

テニス場名	コート数	コート種類	令和２年度利用者数	メンテナンス費（一面年間）
横山公園テニス場	12 面	クレーコート（土）	29,400 人	**30 万円**
淵野辺公園テニス場	12 面	砂入り人工芝コート	65,955 人	10 万円

答弁 大規模修繕の際に、利用者のニーズをお聞きしながら、検討してまいります。

要望 砂入り人工芝に改修することで、収益増加が見込めるのは明らか。メンテナンス費用など、その他費用を含めても、5年程度で元を取れる計算。財政の厳しい今だからこそ、本市にとって必要だと思う。強く要望する。

3. 相模総合補給廠北側外周道路の整備について

（1）取組の経過について

質問 平成25年に返還合意された相模総合補給廠の北側一部返還地は、地元小山地域からの20年以上に及ぶ粘り強い返還要求が実り、現在まで8年間が経過したが、未だに道路整備に着手していない状況。返還合意後、これまでの国との協議等道路整備に向けた交渉内容と進捗は。

答弁 返還合意後、道路予備設計を実施し、国及び米軍と協議を重ね平成29年3月に、米軍との現地実施協定を締結した。平成31年には米軍との工事の設計協議を整え、令和元年度に返還条件工事の一部を実施し、本年度から道路用地の取得を行う予定。

（2）具体的な事業推進について

質問 北側外周道路は、様々な課題により道路整備ができていないとは思うが、部分的に民地への張り出しが少ない上矢部側を先行整備する考えの有無について伺う。

答弁 上矢部側を先行して整備する場合、歩道の連続性、車線のずれに対する安全対策、一部返還地の扱いに関する国との協議などの課題がある。こうしたことを整理し、整備に向けて進めていく。先行整備にともなう返還方法については、国と協議する。

要望 早期に供用ができるよう要望する。

4. 公共施設マネジメントの取組について

（1）（仮称）相模原市公共施設マネジメント推進プラン・アクションプログラムの策定状況について

質問 今後、少子化に伴う学校規模の適正化により、学校再編の取組により校舎や体育館、校庭などの有効活用の検討が必要と考えるが、どのような視点で跡地活用の検討に取り組んでいくのか。

答弁 他の公共施設としての有効活用のほか民間等への貸付や売却などにより、財源の確保と地域の活性化が重要と考えている。地域活動の場や避難所機能などの役割を踏まえ、地域の意見を伺い、具体的な活用方策を検討していく。

要望 少子化に伴い、学校の統廃合など、深刻な課題に直面している。地域の方の意見を聞きながら、学校跡地の有効活用を図って頂くことを要望。

みす城太郎　相模原市議会だより　No.9

議　会　報　告

相模原市議会議員
みす城太郎 城熱通信 スクラム

発行日　令和３年１０月
発　行　市民民主クラブ
責任者　三　須　城太郎
相模原市中央区中央2-11-15
☎042-769-8312

令和3年相模原市議会定例会9月定例会議が8月24日（火）から9月30日（木）までの38日間をかけて開催されましたのでご報告致します。

一般質問をする様子

議案

議案につきましては、令和２年度相模原市一般会計歳入歳出決算や様々な特別会計歳入歳出決算、相模原市簡易水道・下水道事業会計決算、令和３年度相模原市一般会計補正予算（第５号,６号）、３つの議提義案、委員会提出議案、様々な条例改正などを含む計32件の議案が上程され、全て認定・可決・同意されました。

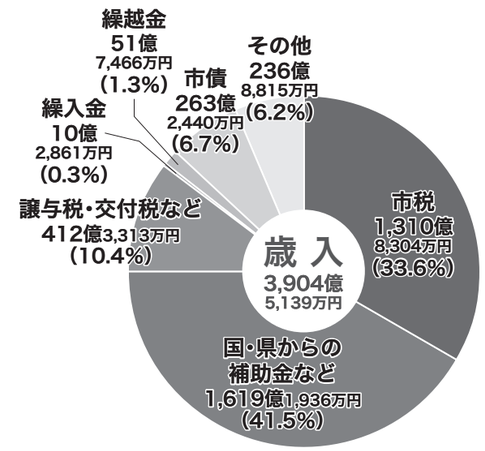
上溝地域の渋滞解消や安全対策について質問 !!

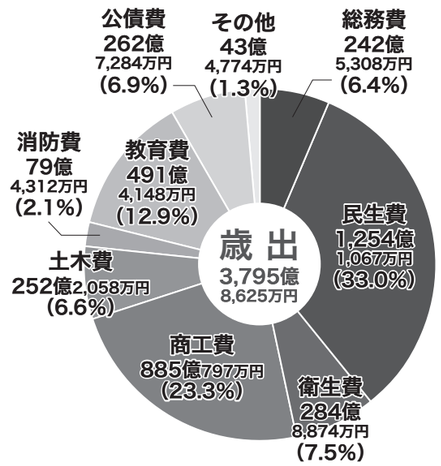
※詳細は中面参照

令和２年度 決算 を認定！

9月の議会は昨年度の決算を審議する議会です。令和２年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、「特別定額給付金事業」を行ったこと等により、歳入総額が3,904億5,139万円で前年と比べると851億4,014万円（27.9%）増加となり、歳出総額が3,795億8,625万円で前年度と比べると839億4,967万円（28.4%）増加となり、過去最大の規模となりました。市民一人当たりの歳出総額は、52万8,511円で前年度と比べると11万6,621円（28.3%）増加となりました。

一般会計決算の構成



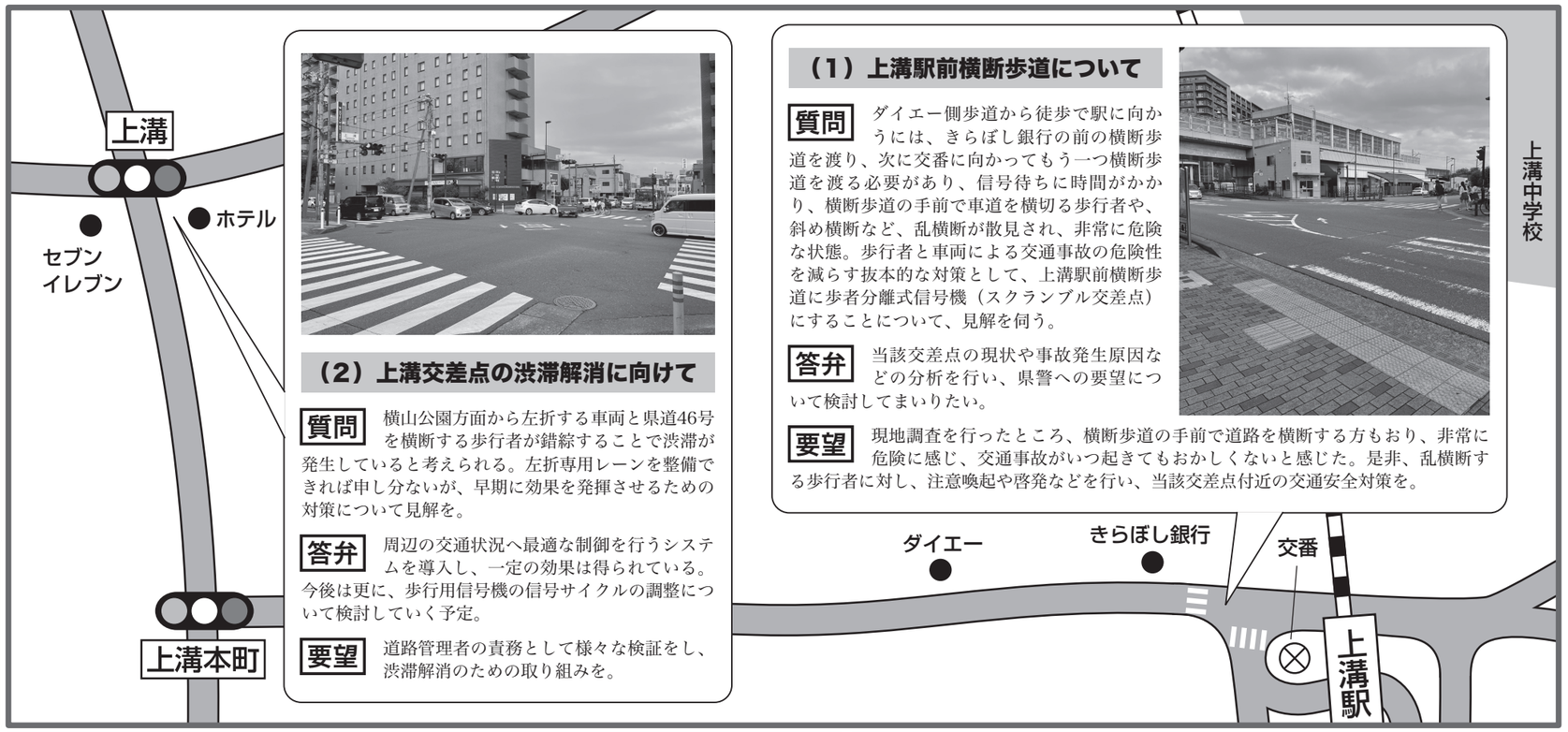


みす城太郎　相模原市議会だより　No.9

一般質問

1．上溝地域周辺の道路管理について
（1）上溝駅前横断歩道について
（2）上溝交差点の渋滞解消に向けて
（3）市道の維持管理について
（4）県道４６号の番田駅周辺歩道における安全対策について
2．スポーツ施設等の有効活用について
（1）スポーツ施設の長寿命化について
（2）テニス場について
3．相模総合補給廠北側外周道路の整備について
（1）取組の経過について
（2）具体的な事業推進について
4．公共施設マネジメントの取組について
（1）（仮称）相模原市公共施設マネジメント推進プラン・アクションプログラムの策定状況について

1．上溝地域周辺の道路管理について



（2）上溝交差点の渋滞解消に向けて

質問　横山公園方面から左折する車両と県道46号を横断する歩行者が錯綜することで渋滞が発生していると考えられる。左折専用レーンを整備できれば申し分ないが、早期に効果を発揮させるための対策について見解を。

答弁　周辺の交通状況へ最適な制御を行うシステムを導入し、一定の効果は得られている。今後は更に、歩行用信号機の信号サイクルの調整について検討していく予定。

要望　道路管理者の責務として様々な検証をし、渋滞解消のための取り組みを。

（1）上溝駅前横断歩道について

質問　ダイエー側歩道から徒歩で駅に向かうには、きらぼし銀行の前の横断歩道を渡り、次に交番に向かってもう一つ横断歩道を渡る必要があり、信号待ちに時間がかかり、横断歩道の手前で車道を横切る歩行者や、斜め横断など、乱横断が散見され、非常に危険な状態。歩行者と車両による交通事故の危険性を減らす抜本的な対策として、上溝駅前横断歩道に歩者分離式信号機（スクランブル交差点）にすることについて、見解を伺う。

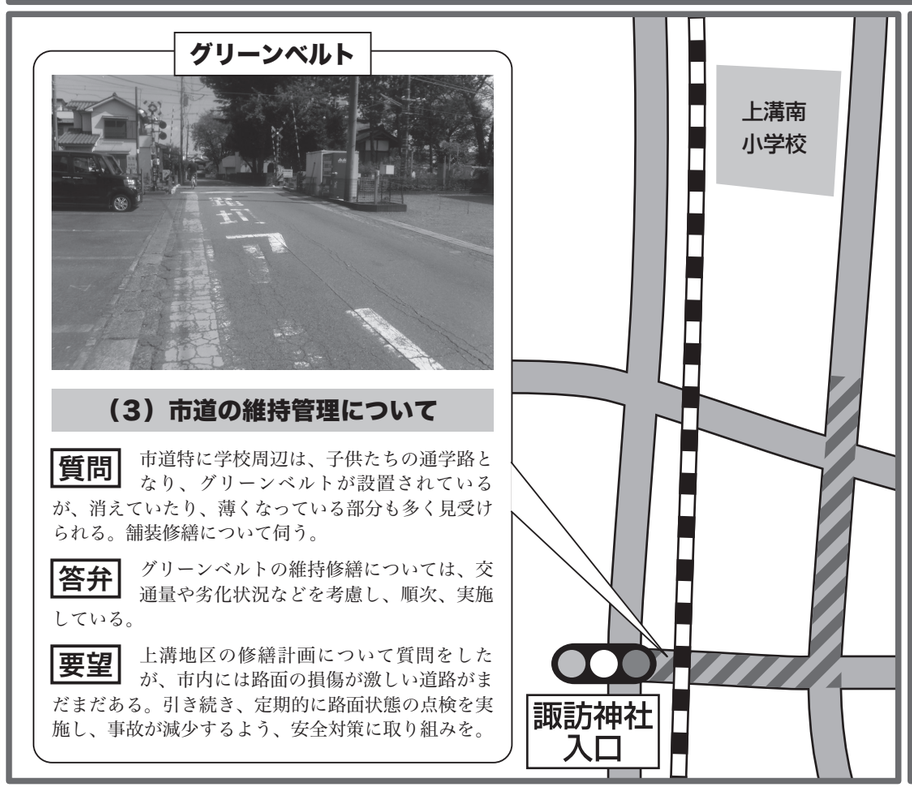
答弁　当該交差点の現状や事故発生原因などの分析を行い、県警への要望について検討してまいりたい。

要望　現地調査を行ったところ、横断歩道の手前で道路を横断する方もおり、非常に危険に感じ、交通事故がいつ起きてもおかしくないと感じた。是非、乱横断する歩行者に対し、注意喚起や啓発などを行い、当該交差点付近の交通安全対策を。

（3）市道の維持管理について

質問　交通量の多い上溝地区において補修が必要なアスファルト舗装の箇所が頻繁に目立ってきている。修繕計画はあるのか。

答弁　本年度は市道横山磯部、来年度は市道田尻番田の舗装修繕工事を予定。



（3）市道の維持管理について

質問　市道特に学校周辺は、子供たちの通学路となり、グリーンベルトが設置されているが、消えていたり、薄くなっている部分も多く見受けられる。舗装修繕について伺う。

答弁　グリーンベルトの維持修繕については、交通量や劣化状況などを考慮し、順次、実施している。

要望　上溝地区の修繕計画について質問をしたが、市内には路面の損傷が激しい道路がまだまだある。引き続き、定期的に路面状態の点検を実施し、事故が減少するよう、安全対策に取り組みを。

（4）県道46号の番田駅周辺歩道における安全対策について

質問　原当麻駅方面に向かう県道46号相模原茅ケ崎線は、歩道内の勾配が部分的に急な箇所があり、側溝の蓋に穴が開いていることから、つまずいたり、転んだりする可能性のある個所が多く見受けられる。大型トラックなどの交通量も多く、スピードを出す車両も多く非常に危険。対策は。

答弁　路面に注意喚起のゼブラ表示を速やかに行い、道路側溝の蓋の穴についても、専用キャップによる穴埋めを行う。

質問　波打ち歩道の部分を改修する考えはあるのか。

答弁　検討していく。

要望　安全面からセミフラット形式または、フラット形式にすることが望ましい。当該道路沿いには障がい者施設もあるため、バリアフリーの観点からも早急な取り組みを。